

コロナ元年にみえた明日の医療



令和2年はコロナウイルスに明け暮れる一年でした。この新興感染症は、冬の到来と共に次第に市井感染症の様相を呈しています。ウイルスが生活基盤の奥深く入り込み、感染症対策として国や自治体が示す指針はもとより、個人々がマスクや手洗いをはじめ、日常生活での予防に工夫を凝らすようになっていきます。連日、重症者の数や医療機関ひっ迫の報道ばかりですが、コロナ禍を教訓に我々が予防の概念を身に付けることは、非常に意義があると思います。

予防医療は疾病を未然に防ぐことが目的です。主体は医療を受ける患者側にあり、病気の発症を防ぐのが一次予防、持病の再発や悪化を防ぐのが二次予防です。一次予防が圧倒的に有効なのは誰の目にも明らかです。医療を受ける側の心がけは、日頃から自分の体の状態を知ること、健診で異常があれば、健康に正常に戻すには何が必要か理解し、自覚症状の有無では判断せず、すぐ対策することです。対症療法は正常に近いほど効果は出ますが、慢性化すると

治療を行っても正常者に戻るのは困難です。

どんな病気に対しても予防を行っていくことで、治療の効果が高まります。予防は自己防衛ですから、手間暇、労力、お金がかかり、すぐに結果が見えませんが、忍耐力強く日々継続できる習慣を付けければ、心身共に鍛えられることは間違いありません。

少子高齢化を伴う人生百年時代は、健康長寿は重要なファクターです。予防を習慣化することが不可欠で、年少者のうちに徹底すれば健康長寿は実現可能なものになるでしょう。(院長 伊田 宜史)



伊田眼科クリニック

- ・眼科一般
- ・日帰り手術
- ・コンタクトレンズ取り扱い

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:30							
12:30	○	○	○	○	○	○	
15:30		手術					
18:00							

【休診日】木・土曜午後
日曜、祝日

TEL 079-556-8600

三田市武庫が丘7-7-4 エムズⅡビル1階 <http://www.ida-ganka.com>

